

循環型社会実現に向けた「廃棄物・資源物収集のDX」(神奈川県座間市)

取組概要

本市では、循環型社会の実現に向けて、令和元年度から家庭系廃棄物・資源の収集DXによる業務の最適化に関する実証実験を開始した。デジタルの活用によって既存収集業務の効率化は実現し、効率化によって創出された余力で新たなリサイクル体制を確立、現状の体制のなかで廃棄物を削減することが可能になった。また、創出された余力は、市民に向けた啓発活動・コミュニケーションの拡充にも繋げており、市民と一体となった循環型社会実現に向けて、更なる取組みへと進んでいる。

取組の効果

収集DXにより、収集車の積載量向上(+11.6%)により、焼却施設への運搬回数を削減(-16.3%)した。また、品目追加による費用を要せず、この余力とデジタルデータを活用した剪定枝リサイクル(+800トン/年)に加え、拡充した啓発活動の効果により、焼却量は大きく削減した。
(-1,400トン/年)

創意・工夫した点

- ・民間企業との共創
- ・デジタルと現場職員のノウハウの融合
- ・地方創生や市民サービス向上への発展
- ・「地球と未来を守る」働きがいの創出

他団体へのアドバイス

- ・循環型社会実現には自治体の清掃部門の取組みが欠かせない。
- ・システム提供者・収集職員・委託先との共創が欠かせない
- ・高齢化が進む収集分野では、システムの操作性がシンプルであることが重要

人口 132,252人(R3.10.1現在)

担当 環境経済部 資源対策課



システムを活用する職員



余力で拡充した啓発教材の制作